

社会福祉法人 まごころ会 「まごころ授産所」「グループホームまごころ」の紹介

まごころ授産所 施設長 平野 タマエ



左の写真は、社会福祉法人 まごころ会 まごころ授産所を本体とする「グループホームまごころ」の日当たりのよい南側の写真です。

その下の写真は南側に広がる土地に、この年の4月から畑として野菜づくりを始めている写真です。

農作業を就労支援事業にあえて加えずに、この一年間は自由に取り組みました。法人の理事さんや近所の方々、専門的に野菜づくりをされている元理事さんであり、御近所に在住の方と、たくさんの方々の御協力も頂き、職員の中でも家庭菜園が趣味の人、自宅で本格的に作っている人が積極的に利用者さんの指導を担当してくれました。

きゅうり、冬瓜、なす、ゴーヤ、すいか、メロン、枝豆。今は、大根、白菜、ほうれん草、キャベツ、などが豊作です。



こんなグループホームがことし4月に開所しました。男性ばかり6人の人が生活をしています。1部屋はいつでもだれでもご利用できる、単独型のショートステイの指定をとりました。これをひもとかれた方ぜひと思われたらどうぞご一報をお願いします。

グループホームの支援は専門的な知識、技術が求められることをあらためて実感しました。その中枢が世話人さんです。サービス管理責任者もそうですし、日々の支援者もしかりです。

いままで、就労継続支援B型事業所のみ利用者さんとの関わりでした。でも、ホームの存在は私たち支援者に自ずと幅と力量の有無を問われ試練を与えられました。

利用者さんの生活に入り込む支援は新鮮であり、喜びであり毎日がまなびの日々でした。これからもお互いが、すてきな気持ちになれるホームを目指していきます。

右の写真は玄関から斜めの位置で撮りました。スロープがあります。車椅子の方もショートなどで利用していただいています。

下はホームの中のリビングです。皆が集うところです。玄関をあけて挨拶したらみんなが声をかけ招待してくれます。日中活動の場から帰って、楽しい夕食をにぎやかに、おいしく摂っていただいています。



窓からの風景は四季を愛でることが出来ます。

